

西部地域のまちづくりプロジェクト

① JRおおさか東線が開業し、JR淡路駅が設置されました(H31.3)

JRおおさか東線は、城東貨物線の複線化・電化を行い、新大阪駅から久宝寺駅に至る旅客線が整備されたものです。JR淡路駅が平成31年3月に開業し、阪急淡路駅との乗り換えなど新たな人の流れが生まれました。令和5年3月には大阪駅までの運行が開始され、重要な交通インフラとなるとともに、新たな区の玄関口となっています。



⑤ 区内の歌島豊里線が全線開通します(令和13年度完成予定)

西部地域の東西方向の主な移動は、府道大阪高槻線に頼っています。都市計画道路歌島豊里線が開通すると、JR新大阪駅方面と東部地域の行き来が飛躍的に改善されます。現在、阪急京都線から千里線までの区間が未整備ですが、阪急連続立体交差事業による高架切替後、道路整備が予定されています。



② 開かずの踏切が解消されました(H30.11)

「開かずの踏切」で有名だった宮原踏切(北・南)はJR東淀川駅の南北に位置し、東西の往来が不便でした。JR東淀川駅の橋上化にあわせバリアフリー化された歩道橋が併設され、安全に線路の東西を行き来できるようになりました。

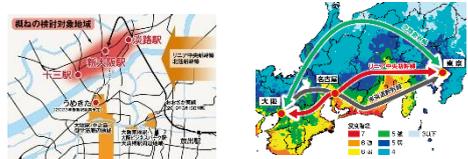


⑥ 新たな新幹線により全国とつながります

リニア中央新幹線は、東京・名古屋・大阪間の3大都市圏を約1時間で結び、国土の構造を変え、日本の国際競争力を強化し、日本人のライフスタイルをも変えるきっかけとなることが期待されています。



北陸新幹線は、首都圏、北陸圏及び関西圏をつなぎ、各地域間の交流・連携を強化し、我が国のさらなる成長・発展を支えるとともに、東京・大阪間の2大都市圏をつなぐ国土軸の3重化により、首都機能のバックアップ体制の整備、大規模災害に強い国土形成に資する極めて重要な高速交通インフラです。



③ 阪急の高架化により、踏切がなくなります(令和10年度 高架切替・令和13年度完成予定)

阪急淡路駅を中心とした京都線3.3kmと千里線3.8km(淡路駅、崇徳寺駅、柴島駅、下新庄駅)の高架化が進められています。17箇所の踏切が除却され、歌島豊里線などの交差道路や関連側道の整備により、都市交通の円滑化や鉄道で分断された市街地の一体化が図られます。



④ 淡路駅周辺の街並みが整います(令和13年度完成予定)

淡路駅周辺地区は、阪急淡路駅を中心に商店街が形成され、老朽木造建物が密集した市街地でした。現在、阪急連続立体交差事業にあわせ、良好な市街地を形成するため、駅前交通広場、道路や公園、良好な住環境の整備など、区画整理事業が進められています。



西部地域がめざすまちの実現に向けて

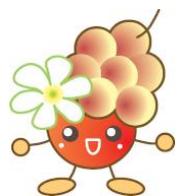
The road to be reborn



東淀川区の西部地域は集中的な都市基盤整備により、まちの様相が大きく変わりつつあります。また未利用地が点在し、柴島浄水場上系の公用廃止に伴いまとまった土地が生み出されるなど、大きな潜在力があります。

整備の主体は様々ですが、良好なまちづくりに繋げるためには長期的視野に立った方向付けが必要となります。また、都市基盤整備に合わせた安全な歩行空間の確保など、安全・安心なまちづくりを望む地域の声を反映させていくことで、より地域に根差したまちづくりが可能になります。

「東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会」は、多様な主体の連携や協働により、まちのバリアフリー化や都市基盤施設の有効利用、未利用地を活用したまちの方向性など、未来に向けたソフト対策の理念と目標を示す「まちづくり構想」を策定しました。小学校跡地検討にも使われていますが、今後さらに地域毎に議論を進め、地域の将来像や施策の方向性・事業などをまとめた「アクションプラン」の作成に取り組んでまいります。



東淀川区のキャラクター「こぶしのりちゃん」

東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会

東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり構想

「みんなでつながる ふだん暮らしのまち」

関西各地につながる
便利・快適なまち

世界各地から人が集まり
交流が生まれるまち



東西を結ぶ幹線道路ができます



地域全体の利便性が向上し、活力が生まれます

誰にもやさしい
ユニバーサルデザイン



人と人をつなぐ
垣根を越えた関係
(バリアフリー)



駅前の道路が広くなります



駅を中心とした人の流れが生まれます

高齢者が
安心して暮らせる



第三の居場所づくり
孤独を作らない



子育てがしやすい
(子どもの孤食なくす)



歴史や文化を
尊重するまち



高架下が様々な用途に活用できるようになります



新たな用途で地域の活性化が促進されます

高架沿いに道路ができます



沿線環境の保全と地域アクセスが向上します



だれもが住みやすく
楽しく暮らせるまち



多様な世帯にとって
住みよい住環境



楽しい地域活動が
できる



地域のつながりによる
安全・安心づくり

踏切が高架下道路になります



行き来しやすくなり交流が促進されます

